

第36回会長杯争奪中学生バドミントンシングルス大会 感染防止対策ガイドライン

令和5年2月27日
埼玉県バドミントン協会中学の部

『第36回会長杯争奪中学生バドミントンシングルス大会』開催時の感染防止策について
◎感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

1 大会全般

- ① 参加生徒(選手)は、大会前2週間分の体調を「健康観察記録票」に記録し、健康管理を徹底する。同様に大人(役員・部活動顧問・部活動指導員・外部指導者・引率保護者など)も、体調管理に留意し、「来場者健康記録票」に記録する。当日受付時に提出する。
- ② 会場入場時に学校ごとに「利用者報告書」を提出する。
- ③ 以下の事項に該当する場合は、大会に参加することができない。(大会当日に書面で確認を行う。)
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 陽性者、濃厚接触者に特定された場合
 - ウ 陽性者・濃厚接触者ともに、国が示す待機期間中は参加不可
<陽性者の待機期間について>
 - 症状のある方(有症状者の場合)
発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快(解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が改善傾向)後24時間経過した場合
 - 症状のない方(無症状者の場合)
1検体採取日から7日間を経過した場合、なお、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後(6日目)に解除が可能<濃厚接触者の待機期間について>
 - 陽性判明者と最終接触があった日を0日として、翌日から5日間(6日目解除)は、外出の自粛(自宅待機)と健康観察。
 - 2日目及び3日目に抗原定性検査キットによる検査を行い、陰性であれば3日目から待機解除が可能。
 - エ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ 参加生徒(選手)を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用する。各自、予備用マスクを持参する。熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す。マスクを外している場合は、至近距離で対面しない。
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。各校消毒液を部として用意する。(その他、各自、携帯用消毒液や携帯用除菌シートを持参するのが望ましい。)
- ⑥ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保する。(できるだけ2mを目安に、最低1m)
- ⑦ ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する。鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉し、縛った上で持ち帰る。

2 会場内

- ① 密閉空間とならないよう常時2方向の窓を開放する(又は定期的に窓を開け外気を取り入れる)等の換気を行う
- ② 通路や階段においての接触を避けるため、会場内の通行方法(左側通行など)を定める。
- ③ 体調不良者は、本部に連絡する。
- ④ 共用の競技用具を使用する場合は、使用前には手洗いを行い、使用中には顔をできるだけ触らない。
 - <トイレ> ① 洋式トイレの蓋を閉めて汚物を流す。
② ポンプ型石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。
 - <観客席> ① 間隔を空けて使用し、対面しない。
② 使用后、各校顧問・役員が消毒(消毒用具は本部で保管)を行う。
 - <競技場> ① 周囲との間隔を空けて使用する。
② 競技中は、マスクを外しても構わない。

3 今後、社会情勢が大きく変化し、通常の世界生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない。

【参考資料】

『埼玉県中学校体育連盟 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインVer.3』

(令和4年5月10日、埼玉県中学校体育連盟)

『新型コロナウイルス感染症対策に伴う バドミントン活動ガイドライン』

(第2版令和3年2月8日、公益財団法人 日本バドミントン協会)

『「新しい生活様式」を踏まえたバドミントン競技の取組みについて』

(令和2年6月14日掲載、随時更新、日本中学校体育連盟/バドミントン競技部)